



発行所 秋田魁新報社
秋田市山王臨海町1番1号
〒010-8601
©秋田魁新報社 2003

購読申し込み

0120-13-1231

ホームページ

www.sakigake.jp

i-mode

www.sakigake.jp

号 外

詳しくは「秋田魁新報」本紙、当社ホームページをご覧ください。

フセイン元大統領を拘束

米軍北部テイクリットで



【バグダッド14日共同】イラク統治評議会によると、イラクを占領下に置く米軍当局は十四日、米軍のバグダッド制圧以降、八カ月以上も行方不明となっていたイラクのサダム・フセイン元大統領(65)をイラク北部のテイクリットで拘束した。

イラク統治評議会のウシエケル評議員の補佐官は十四日、拘束されたフセイン元大統領がバグダッドへ移送中であることを明らかにした。

ロイター通信は十四日、拘束されたフセ

2002年4月28日の誕生日に剣を握るイラクのフセイン大統領(右)と、大統領秘書官で警護役のアビド・ハミド・マハムード氏(ロイター共同)

イン元大統領についてDNA鑑定でも本人と確認されたと伝えた。

イラク統治評議会のパチャチ評議員の秘書官は十四日、拘束されたフセイン元大統領は長いひげをのばしていたと語った。

イラク統治評議会のチャラピ評議員は十四日、拘束されたフセイン元大統領がひげをたくわえていたとされる点について、つけひげだと述べるとともに、フセイン元大統領は「地下室から引き出された」と述べた。

フセイン政権はバグダッド陥落とともに既に崩壊したが、元大統領の息子二人の死亡に続き、元大統領を拘束したことで、米英軍はフセイン政権の完全排除というイラク戦争の最大の目的を達成した。